●3月は水と衛生月間です。
室蘭北ロータリークラブ
会報 むろらんだけ 室蘭岳
Rotary
2023～2024年度　国際ロータリーテーマ
CREATE HOPE in the WORLD
「世界に希望を生み出そう」
世界に希望を生み出そう　2023～2024年度 RI会長　ゴードン R. マッキナリー

2024年3月5日（火）　第2455回　例会

第2510地区　日本（DISTRICT 2510 JAPAN）　●会長：藤井　徹也　●幹事：岸田　理　●編集：クラブ会報委員会

本日のプログラム

卓話「日本ロータリーの歴史 米山梅吉とロータリーが出来るまで」

菅原　正明 会員
クラブ管理運営委員会

和食ランチ（筍ご飯、吸物、焼き魚、小鉢、香の物、甘味）

※例会終了後、定例理事会を開催致します。

次回の予定プログラム

卓話「中小企業支援施策の有効活用について」

公益財団法人北海道中小企業総合支援センター
日胆支部長　齋藤　亘 様
クラブ管理運営委員会

松花堂弁当（八寸、お造り、煮物、ご飯、香の物、お椀、甘味）

※3月19日（火）は休会です。

ニコニコBOX

藤井徹也（胃腸炎で二週間苦しみました）
小野寺浩二（RLIセミナー修了しました）
岸田理（3/4～3/8まで能登半島へ行ってきます）
内池秀光（2/8誕生記念日にあたり）

出席報告

会員数	50名	出席者数	15名
出席免除者数	0名	欠席者数	35名
出席義務者数	50名	出席率	30.00%

前回までの例会の報告

第2454回（2月27日）例会記録

本日のゲスト

室蘭工業大学
大学院工学研究科ひと文科系領域
国際交流センター　准教授　坂本　裕子 様
大学院博士前期課程情報電子工学系
情報システム学コース2年
リ　コウ 様（中国出身）
大学院研究生
キム　デウォン 様（韓国出身）
創造工学科機械ロボット工学コース2年
パク　チャンヒョン 様（韓国出身）

ロータリアンの行動規範

ロータリアンとして、私は以下のように行動する。

1. 個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する。
2. 取引のすべてにおいて公正に努め、相手とその職業に対して尊重の念をもって接する。
3. 自分の職業スキルを生かして、若い人びとを導き、特別なニーズを抱える人びとを助け、地域社会や世界中の人びとの生活の質を高める。
4. ロータリーやほかのロータリアンの評判を落とすような言動は避ける。
5. ロータリーの会合、行事、活動においてハラスメントのない環境を維持し、ハラスメントの疑いがあれば報告し、ハラスメントを報告した人への報復が起こらないようにする。

●例会場　アパホテル室蘭　●例会日　毎週火曜日　12：30　P.M.
●事務所　室蘭市中島町2丁目28-6（アパホテル室蘭）
●電　話　0143-45-6569　●ＦＡＸ　0143-50-6578
●URL http://murokita-rc.org/　●E-mail mur-n.rc@athena.ocn.ne.jp

前回例会のプログラム

夜間例会「クラブフォーラム アフターコロナにおける留学生」

奉仕プロジェクト委員会
国際奉仕委員会

室蘭工業大学から国際教育センター教員と留学生を招きアフターコロナにおける国際交流や留学生の生活についてお話を頂きました。室蘭工業大学からは次の方に参加頂きました。

国際交流センター准教授　坂本　裕子　先生

博士前期課程情報電子工学系専攻
情報システム学コース２年
李　昊（リ　コウ）さん　中国出身

大学院研究生　キム　デウォンさん　韓国出身

創造工学科機械ロボット工学コース２年
パク　チャンヒョンさん　韓国出身

概要

はじめに坂本先生より留学生の在籍状況やアフターコロナにおける国際交流の状況報告がありました。

留学生の出身国は15か国にのぼり留学生数は中国が最も多く続いてマレーシア・韓国・インドネシア・バングラデシュの順になっていて、中国からの留学生だけで約7割も占めているとのことでした。

室蘭工業大学は現在、54大学・４機関と交流協定を締結していて交換留学生は室蘭工業大学の敷地内にある国際交流会館に住んでいるなど国際交流に関連する施設なども紹介されました。

奨学金については84.3%の留学生が入国時には奨学金の支援を受けていないので日本に入国して大学に入学した後に自分で奨学金の申請を行う仕組みとなっていることや奨学金が全くないという留学生が34%もいるという説明などもありました。また一般的な留学生の1か月の生活費は約５万円～8万円（家賃・光熱費・食費・携帯代含む）

留学生が１週間にアルバイトが出来る時間は入国管理局で28時間と決められているのですが1日4時間1週間で28時間のアルバイトは勉強や研究などの両立を著しく困難にさせているにもかかわらず1か月で10万円程度にしかならないという非常に厳しい経済状況となっております。そのような中、北ロータリークラブの皆さんから頂く奨学金は学生たちが安心して勉強に専念することができる非常に貴重なことだと感謝していました。

最後に、坂本先生から今回参加して頂いた3名の留学生へのインタビューというかたちでフォーラムを進めましたがアフターコロナにおける留学生活の実情や、今頑張っている事、心配事など、留学生の皆さんが色々と制約を受け困難を抱えつつも夢や目標に向かって頑張っているという、素晴らしいお話を聞くことが出来ました。

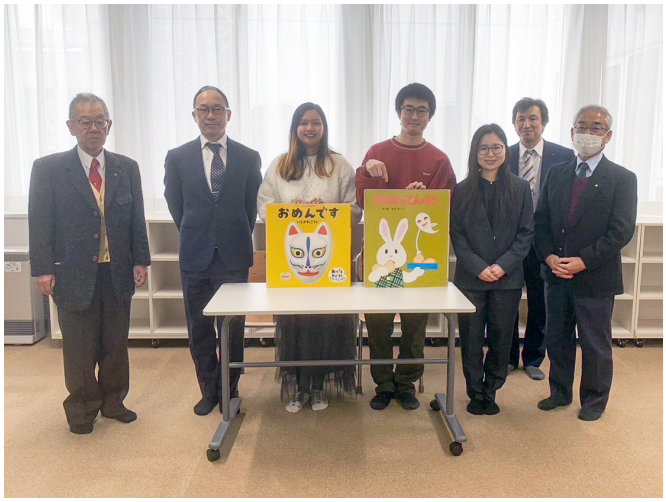
室蘭市立旭ヶ丘小学校での絵本の読み聞かせの実施報告

青少年奉仕委員会　委員長　本間　寛菜

2月26日（月）に室蘭市立旭が丘小学校を訪問して、同小学校の3年生の児童に対し、絵本の読み聞かせを実施しました。ロータリアン4名とアクト2名が参加しました。

絵本の読み聞かせは米山記念奨学生でアクト会員でもあるアニスさんと、アクト会員の室蘭工業大学1年生の村田晃大さんが行いました。

学校の中休みの時間帯に実施し、40名弱の児童が集まりました。終始にぎやかで、子どもたちは絵本の内容についてコメントを述べたりしながら、楽しんで聞いている様子でした。アクトの二人は初めての体験でしたが、とても楽しかったと述べておりました。

読み聞かせの最後には児童のみなさんから感謝の言葉が伝えられました。

子どもたちは元気いっぱいでたくさんエネルギーをもらいました。また交流の機会をもてると良いなと感じました。